

自然と共に生き、自然を活かす。

水上村勢要覧

資料編

目 次

1. 気 象	1	9. 保 健 衛 生	10
2. 人 口	1	10. 交 通・防 犯	10
3. 産 業	3	11. 建 設	11
4. 行 政	5	12. 学 校 教 育	12
5. 議 会	6	13. 社 会 教 育	13
6. 選 挙	7	14. 観 光	14
7. 財 政	8	15. 文 化 財	15
8. 社 会 福 祉	9	16. 年 表	16



1 気 象

〔気象概況〕

平成 30 年～令和 4 年

5 年間

資料：市房ダム管理所

区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	平 均
平 均 気 温 (℃)	3.10	4.63	8.73	14.07	18.32	21.88	25.37	26.14	23.23	17.19	10.73	5.93	14.94
最 高 気 温 (℃)	21.3	23.8	26.2	30.1	33.0	35.7	36.4	38.0	37.1	35.9	30.6	21.7	30.82
最 低 気 温 (℃)	-5.7	-4.8	-0.4	1.5	5.0	13.9	16.4	18.3	10.8	5.8	1.4	-3.4	4.90
降 水 月 平 均 (mm)	64.00	105.40	159.20	166.40	329.20	501.40	769.60	353.80	493.40	86.60	87.40	74.00	265.87
降 雨 日 数 平 均 (日)	8.40	9.60	12.60	8.40	12.00	14.60	17.20	13.20	13.40	5.80	7.40	7.00	10.80
最 多 日 雨 量 (mm)	33.0	45.0	53.0	139.0	177.0	246.0	470.0	178.0	487.0	92.0	43.0	42.0	167.08

昭和 46 年以降調査

年 平 均 気 温	14.6℃（昭和 60 年以降の午前 9 時の観測）
現在までの最高気温	38.2℃（平成 25 年 8 月 19 日）
現在までの最低気温	-8.7℃（平成 24 年 2 月 3 日）
年 平 均 降 雨 量	3,190.4mm（平成 25 年～平成 29 年）
年 最 多 降 雨 量	4,829mm（平成 5 年）
年 最 小 降 雨 量	1,381mm（平成 6 年）
最 多 月 雨 量	1,564mm（令和 2 年 7 月）
最 多 日 雨 量	470mm（令和 2 年 7 月 3 日）
年 平 均 降 水 日 数	129.6 日（平成 30 年～令和 4 年）

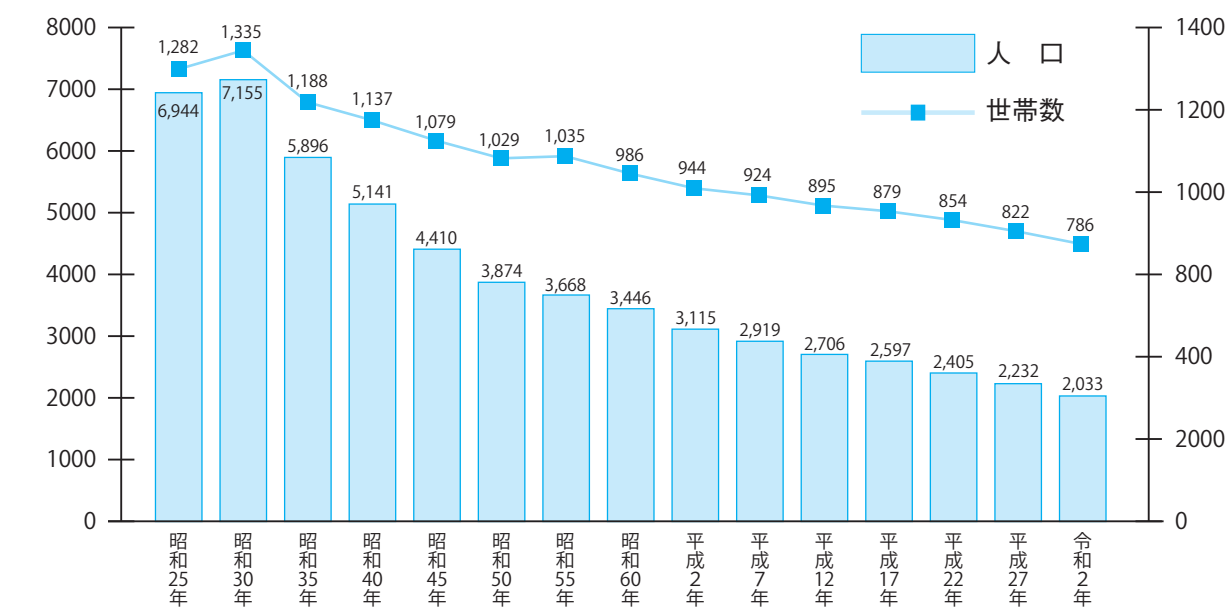
2 人 口

〔世帯数と 10 歳階級別人口の推移〕

資料：国勢調査

調査年	世帯数	人口			年 代 別										
		総数	男	女	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～
昭和25年	1,282	6,944	—	—	1,841	1,526	1,078	758	640	502	356	201	42		
昭和30年	1,335	7,155	—	—	2,012	1,394	1,101	838	628	553	365	216	48		
昭和35年	1,188	5,896	—	—	1,431	1,155	860	793	596	481	349	170	58	3	
昭和40年	1,137	5,141	—	—	1,001	1,113	527	772	623	475	390	181	53	6	
昭和45年	1,079	4,410	2,092	2,318	746	821	382	672	622	490	403	225	45	4	
昭和50年	1,029	3,874	1,833	2,041	519	639	403	467	633	494	390	263	63	3	
昭和55年	1,035	3,668	1,762	1,906	469	508	357	389	588	573	403	282	93	6	
昭和60年	986	3,446	1,654	1,792	434	416	340	414	434	597	419	281	99	12	
平成 2 年	944	3,115	1,484	1,631	340	341	231	359	350	553	498	301	133	9	
平成 7 年	924	2,919	1,370	1,549	293	332	162	329	365	406	524	345	144	18	1
平成12年	895	2,706	1,255	1,451	241	288	158	250	358	321	486	394	190	20	
平成17年	879	2,597	1,203	1,394	202	259	157	197	303	373	372	438	242	52	2
平成22年	854	2,405	1,106	1,299	196	195	120	193	242	346	322	441	285	60	5
平成27年	822	2,232	1,043	1,189	194	176	95	193	202	304	370	339	284	75	
令和 2 年	786	2,033	938	1,095	159	164	76	123	192	262	342	309	297	103	6

〔人口と世帯数の推移図〕



〔人口動態関係〕

資料：住民基本台帳（単位：人）

		転入数	出生数	転出数	死亡数	差引き		転入数	出生数	転出数	死亡数	差引き	
昭 和	60年	118	39	154	40	-37	16年	73	20	86	34	-27	
	61年	102	43	180	27	-62		17年	67	18	78	32	-25
	62年	96	22	143	37	-62		18年	93	27	94	28	-2
	63年	79	32	157	23	-69		19年	73	15	89	45	-46
平 成	元 年	84	32	113	26	-23	20年	52	20	66	36	-30	
	2 年	89	22	107	31	-27	21年	44	14	69	34	-45	
	3 年	81	26	151	35	-79	22年	53	17	62	34	-26	
	4 年	81	35	127	32	-43	23年	80	19	101	26	-28	
	5 年	89	35	108	33	-17	24年	78	21	96	36	-33	
	6 年	81	28	85	38	-14	25年	54	12	82	38	-54	
	7 年	85	22	103	38	-34	26年	80	15	83	40	-28	
	8 年	102	25	125	38	-36	27年	64	22	130	33	-77	
	9 年	83	21	121	39	-56	28年	65	20	62	33	-10	
	10年	83	14	119	35	-57	29年	38	14	60	31	-39	
	11年	69	19	104	44	-60	30年	55	15	68	40	-38	
	12年	64	14	93	35	-50	令 和	元 年	35	16	71	37	-57
	13年	60	16	90	23	-37		2 年	64	11	66	39	-30
	14年	77	13	93	26	-29		3 年	36	6	57	40	-55
	15年	71	13	95	27	-38		4 年	35	12	54	45	-52

3 産 業

〔産業別就業者の推移〕

資料：国勢調査（単位：人）

	昭和 30 年	昭和 35 年	昭和 40 年	昭和 45 年	昭和 50 年	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
第 1 次 産 業	2,015	1,925	1,477	1,273	1,116	902	863	654	510	395	352	353	311	286
第 2 次 産 業	394	284	313	354	296	404	383	422	392	341	276	243	214	184
第 3 次 産 業	504	534	496	493	532	586	513	579	554	588	598	540	532	537
分類不能の産業									2		2			3
計	2,913	2,743	2,286	2,120	1,944	1,892	1,759	1,655	1,458	1,324	1,228	1,136	1,057	1,010

〔農家戸数の推移〕

資料：農林業センサス（単位：戸）

区分 年	専 業 別 内 訳				経 営 規 模 別 内 訳					
	総戸数	専業	第1種 兼 業	第2種 兼 業	0.5ha 未満	0.5ha～ 1ha	1.0ha～ 1.5ha	1.5ha～ 2.0ha	2.0ha～ 3.0ha	3.0ha 以上
昭和40年	623	82	313	228	278	220	90	29	3	3
昭和45年	601	8	106	487	268	166	80	52	31	4
昭和50年	541	36	221	284	231	150	63	34	45	18
昭和55年	520	72	138	310	232	125	68	40	25	10
昭和60年	509	63	119	327	221	116	39	52	60	21
平成2年	463	78	78	307	209	96	42	31	47	38
平成7年	421	76	59	286	174	90	39	38	48	32
平成12年	375	49	55	271	164	86	46	20	35	24
平成17年	222(339)	52	42	128	73	58	42	22	14	13
平成22年	207(316)	53	25	129	61	64	33	18	14	17
平成27年	178(284)	56	19	103	49	56	26	14	17	16
令和2年	162(246)	-	-	-	34	60	22	15	15	16

※平成17年、22年、27年は販売農家を対象とする。（ ）は販売農家数＋自給的農家数

〔農業経営土地種類別面積〕

資料：農林業センサス（単位：ha）

年度	計	田	畑	樹 園 地			
				計	果樹	茶	その他
平成7年度	463	233	16	214	194	15	5
平成12年度	378	217	9	152	133	15	4
平成17年度	243	175	4	64			
平成22年度	248	182	8	58			
平成27年度	216	163	6	47			
令和2年度	211	146	17	48	-	-	-

※平成17年、22年、27年は販売農家を対象とする。

〔村内林野の所有形態別面積の状況〕

資料：令和3年度熊本県林業統計要覧

	国有林	民 有 林						
		公 有 林			私 有 林			
		計	県有林	市町村有林	計	個人有林	集落有林	共有林
令和3年度	1,998.57	2,683.22	1,634.47	1,048.75	12,824.71	6,129.89	0.50	1,888.12
構 成 率	11.4%	15.3%	9.3%	6.0%	73.3%	35.0%	0.0%	10.8%

（つづき）

	民 有 林						計
	私 有 林						
	組合有林	団体有林	会社有林	公社有林	旧公団有林※	その他	
令和3年度	145.42	6.17	2,379.86	251.51	1,946.75	76.49	17,506.50
構 成 率	0.8%	0.0%	13.6%	1.4%	11.1%	0.4%	100.0%

※国立研究開発法人、森林研究・整備機構、森林整備センター有林

〔村有林の状況〕

	村管理	国部分林	公団造林	県行造林	官行造林	分収育林	公社造林	自然公園	計
令和5年	1,081.29	18.22	419.62	28.58	53.44	16.55	11.66	123.00	1,752.36
構成率	61.7%	1.0%	23.9%	1.6%	3.0%	0.9%	0.7%	7.0%	100%

〔民有林林種・樹種別面積・蓄積〕

資料：令和3年度熊本県林業統計要覧

	立 木 地										
	人 工 林						天 然 林				
	スギ	ヒノキ	マツ	クヌギ	その他	計	クヌギ	マツ	広葉樹等	その他	計
面 積 (ha)	5749.57	3886.50	332.69	202.40	117.77	10288.93	10.34	4669.28	61.57	53.23	4794.42
構 成 比	37.1%	25.1%	2.1%	1.3%	0.8%	66.3%	0.1%	30.1%	0.4%	0.3%	30.9%
蓄 積 (m ³)	2,536,798	1,661,818	92,043	44,325	9,727	4,344,711	2,550	998,718	19,085	7,467	1,027,820

(つづき)

(単位：面積 ha、蓄積 m³)

	竹林	未立木地 (伐跡含)	更 新 困難地	その他 特殊林	合計
面 積 (ha)	260.72	95.49	67.62	0.75	15507.93
構 成 比	1.7%	0.6%	0.4%	0.0%	100%
蓄 積 (m ³)	199,078				5,372,531

4 行 政

水上村役場 球磨郡水上村大字岩野 90 番地

TEL 0966-44-0311 FAX 0966-44-0662

位置 北緯 32° 18' 40" 東経 131° 00' 42" 標高 223.38 m

〔歴代村長〕

歴代	氏 名	就 任	退 任
初	鳥 井 典 三	明治29年 2 月15日	明治43年 4 月
2	松 下 辨 次	明治44年 4 月	明治44年 9 月
3	神殿原 昌 季	明治44年 9 月	大正 5 年
4	鳥 井 尹	大正 5 年 4 月17日	大正 9 年
5	東 辨 次	大正 9 年 5 月	昭和11年 6 月 4 日
6	小 川 伊之吉	昭和11年10月	昭和14年 3 月14日
7	那 須 寛 光	昭和14年 6 月19日	昭和18年 6 月
8	岡 格	昭和18年 6 月	昭和21年11月23日
9	東 一	昭和22年 4 月 5 日	昭和34年 4 月30日
10	荒 嶽 茂	昭和34年 5 月 1 日	昭和46年 4 月30日
11	雨 森 友 房	昭和46年 5 月 1 日	昭和58年 4 月30日
12	信 國 守一郎	昭和58年 5 月 1 日	平成 7 年 4 月30日
13	成 尾 政 紀	平成 7 年 5 月 1 日	平成23年 4 月30日
14	廣 瀬 親 吾	平成23年 5 月 1 日	平成27年 4 月30日
15	中 嶽 弘 継	平成27年 5 月 1 日	現在

〔歴代助役・副村長〕

歴代	氏 名	就 任	退 任	備 考
初	入 船 嘉三郎	明治29年 4 月15日	不詳	
2	嘉 永 官次郎	不詳	不詳	
3	塩 本 安次郎	不詳	不詳	
4	吉 見 保 高	不詳	不詳	
5	米 良 勝 一	不詳	不詳	
6	那 須 寅五郎	不詳	不詳	
7	神殿原 昌 季	不詳	不詳	
8	富 山 才 次	大正 5 年 4 月	不詳	
9	東 辨 次	大正 7 年 7 月	大正 9 年 5 月	
10	小 川 伊之吉	大正11年 3 月20日	昭和11年10月	
11	那 須 寛 光	昭和11年10月	昭和14年 6 月	
12	那 須 益 男	昭和17年 3 月21日	昭和22年 4 月	
13	江 崎 忠 吉	昭和22年 5 月27日	昭和26年 5 月27日	
14	上 原 竹 松	昭和27年 8 月22日	昭和35年 8 月23日	
15	雨 森 友 房	昭和36年 4 月 1 日	昭和46年 2 月24日	
16	信 國 守一郎	昭和47年 3 月 6 日	昭和58年 3 月31日	
17	若 杉 光 郎	昭和59年 3 月21日	昭和63年 3 月20日	
18	成 尾 政 紀	昭和63年 3 月21日	平成 7 年 3 月 1 日	
19	上 原 吉 朗	平成 7 年 7 月 1 日	平成14年12月20日	
20	椎 葉 和 徳	平成24年 4 月 1 日	平成27年 4 月30日	初代副村長

〔歴代収入役〕

歴代	氏 名	就 任	退 任
初	藤 原 辰 治	明治29年 2 月15日	不詳
2	西 元 市	不詳	明治45年 4 月11日
3	西 堅 治	明治45年 4 月	不詳
4	下 川 秀 雄	大正 5 年 4 月	不詳
5	那 須 益 男	不詳	不詳
6	磯 崎 三千蔵	大正 9 年 5 月	不詳
7	那 須 益 男	昭和11年 5 月11日	不詳
8	東 一	不詳	昭和22年 4 月
9	雨 森 友 房	昭和22年 5 月27日	昭和36年 3 月31日
10	椎 葉 義 直	昭和36年 4 月14日	昭和48年 3 月31日
11	若 杉 光 郎	昭和48年 4 月 3 日	昭和59年 3 月20日
12	成 尾 政 紀	昭和59年 3 月21日	昭和63年 3 月20日
13	上 原 吉 朗	昭和63年 3 月21日	平成 7 年 6 月30日
14	原 田 凱 喜	平成 7 年 7 月 1 日	平成16年 3 月31日
15	椎 葉 直 徳	平成16年 4 月 1 日	平成19年12月31日

※水上村誌歴史編第3巻（平成24年3月31日発行）より出典

5 議 会

〔歴代議長〕

代	氏 名	就 任	退 任	代	氏 名	就 任	退 任
初	井 上 勝	昭和22年5月27日	昭和26年4月23日	11	半仁田 保	昭和62年5月1日	平成 3 年4月30日
2	半仁田 源 蔵	昭和26年4月23日	昭和30年4月29日	12	服 部 重 実	平成 3 年5月1日	平成 7 年4月30日
3	那 須 益 男	昭和30年5月1日	昭和34年4月30日	13	甲 斐 福 一	平成 7 年5月1日	平成11年4月30日
4	半仁田 源 蔵	昭和34年5月1日	昭和38年4月30日	14	小 野 信 親	平成11年5月1日	平成15年4月30日
5	那 須 勝	昭和38年5月1日	昭和42年4月30日	15	大 石 長一郎	平成15年5月1日	平成19年4月30日
6	中 村 房 夫	昭和42年5月1日	昭和46年4月30日	16	杉 野 二 男	平成19年5月1日	平成23年4月30日
7	那 須 康 八	昭和46年5月1日	昭和50年4月30日	17	大 石 長一郎	平成23年5月1日	平成27年4月30日
8	那 須 康 八	昭和50年5月1日	昭和54年4月30日	18	富 山 憲 治	平成27年5月1日	平成31年4月30日
9	那 須 康 八	昭和54年5月1日	昭和58年4月30日	19	那 須 正 弘	令和元年5月1日	令和 5 年4月30日
10	半仁田 保	昭和58年5月1日	昭和62年4月30日	20	那 須 良 策	令和 5 年5月1日	現 在

〔令和5年度議会構成〕

水上村議会委員会

区 分	総 務 文 教 会 常 任 委 員 会	産 業 厚 生 会 常 任 委 員 会	議 会 運 営 会 委 員 会
委 員 長	米 本 宗 徳	杉 野 久 志	杉 野 久 志
副 委 員 長	小 川 恵	杉 野 貴 文	米 本 宗 徳
委 員	荒 嶽 晋	那 須 良 策	山 崎 隆 浩
委 員	山 崎 隆 浩	成 尾 和 英	杉 野 貴 文

議会選任監査委員 成尾 和英

一部事務組合議会議員

公立多良木病院企業団議会議員 小川 恵 ・ 荒嶽 晋
人吉球磨広域行政組合議会議員 杉野 貴文 ・ 杉野 久志
上球磨消防組合議会議員 米本 宗徳

6 選 挙

〔選挙の実施状況〕

選挙別	執行年月日	当日有権者数			投 票 者 数			投 票 率		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
県 知 事 選 挙	平成 7 年 2 月 5 日	2,396	1,126	1,270	1,759	824	935	73.4%	73.2%	73.6%
県 議 会 議 員 選 挙	平成 7 年 4 月 9 日	2,391	1,126	1,265	1,937	909	1,028	81.0%	80.7%	81.3%
村長・村議会議員選挙	平成 7 年 4 月23日 (村長選無投票)	2,375	1,115	1,260	2,277	1,061	1,216	95.9%	95.2%	96.5%
参議院議員選挙	平成 7 年 7 月23日	2,392	1,123	1,269	1,741	823	918	72.8%	73.3%	72.3%
衆議院議員選挙	平成 8 年10月20日	2,370	1,112	1,258	1,943	894	1,049	82.0%	80.4%	83.4%
参議院議員選挙	平成10年 7 月12日	2,322	1,075	1,247	1,918	885	1,033	82.6%	82.3%	82.8%
県 知 事 選 挙	平成11年 1 月31日	2,309	1,072	1,237	1,809	851	958	78.4%	79.4%	77.5%
県 議 会 議 員 選 挙	平成11年 4 月11日	2,307	1,072	1,235	2,061	958	1,103	89.3%	89.4%	89.3%
村長・村議会議員選挙	平成11年 4 月25日 (村長選無投票)	2,282	1,060	1,222	2,173	1,009	1,164	95.2%	95.2%	95.3%
県 知 事 選 挙	平成12年 4 月16日	2,256	1,052	1,204	1,895	883	1,012	84.0%	83.9%	84.1%
参議院議員補欠選挙	平成12年 4 月16日	2,256	1,052	1,204	1,895	883	1,012	84.0%	83.9%	84.1%
衆議院議員選挙	平成12年 6 月25日	2,267	1,054	1,213	1,998	926	1,072	88.1%	87.9%	88.4%
参議院議員選挙	平成13年 7 月29日	2,232	1,030	1,202	1,865	862	1,003	83.6%	83.7%	83.4%
県 議 会 議 員 選 挙	平成15年 4 月13日	2,220	1,024	1,196	1,921	897	1,024	86.5%	87.6%	85.6%
村長・村議会議員選挙	平成15年 4 月27日 (村長選無投票)	2,205	1,022	1,183	2,085	969	1,116	94.6%	94.8%	94.3%
衆議院議員選挙	平成15年11月 9 日	2,233	1,027	1,206	1,879	869	1,010	84.2%	84.6%	83.8%
県 知 事 選 挙	平成16年 4 月 4 日	2,209	1,016	1,193	1,657	772	885	75.0%	76.0%	74.2%
参議院議員選挙	平成16年 7 月11日	2,219	1,022	1,197	1,816	855	961	81.8%	83.7%	80.3%
衆議院議員選挙	平成17年 9 月11日	2,184	1,005	1,179	1,851	859	992	84.8%	85.5%	84.1%
県 議 会 議 員 選 挙	平成19年 4 月 8 日	2,158	995	1,163	1,818	842	976	84.2%	84.6%	83.9%
村長・村議会議員選挙	平成19年 4 月22日	2,160	996	1,164	2,039	938	1,101	94.4%	94.2%	94.6%
参議院議員選挙	平成19年 7 月29日	2,182	1,004	1,178	1,659	777	882	76.0%	77.4%	74.9%
衆議院議員選挙	平成21年 8 月30日	2,113	971	1,142	1,807	835	972	85.5%	86.0%	85.1%
参議院議員選挙	平成22年 7 月11日	2,088	958	1,130	1,737	802	935	83.2%	83.7%	82.7%
県 議 会 議 員 選 挙	平成23年 4 月10日	2,054	940	1,114	1,660	763	897	80.8%	81.2%	80.5%
村長・村議会議員選挙	平成23年 4 月24日	2,044	938	1,106	1,921	883	1,038	94.0%	94.1%	93.9%
県 知 事 選 挙	平成24年 3 月25日	2,034	930	1,104	1,473	674	799	72.4%	72.5%	72.4%
衆議院議員選挙	平成24年12月16日	2,037	930	1,107	1,600	740	860	78.6%	79.6%	77.7%
参議院議員選挙	平成25年 7 月21日	2,013	921	1,092	1,509	701	808	75.0%	76.1%	74.0%
衆議院議員選挙	平成26年12月14日	1,979	906	1,073	1,504	699	805	76.0%	77.2%	75.0%
村長・村議会議員選挙	平成27年 4 月26日 (議員選無投票)	1,946	885	1,061	1,813	829	984	93.2%	93.7%	92.7%
県 知 事 選 挙	平成28年 3 月27日	1,906	873	1,033	1,493	690	803	78.3%	79.0%	77.7%
参議院議員選挙	平成28年 7 月10日	1,946	890	1,056	1,455	673	782	74.8%	75.6%	74.1%
衆議院議員選挙	平成29年10月11日	1,925	880	1,045	1,494	694	800	77.6%	78.9%	76.6%
県 議 会 議 員 選 挙	平成31年 4 月 7 日 (無投票)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
村長・村議会議員選挙	平成31年 4 月21日 (無投票)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参議院議員選挙	令和元年 7 月21日	1,852	850	1,002	1,287	602	685	69.5%	70.8%	68.4%
県 知 事 選 挙	令和 2 年 3 月22日	1,821	840	981	1,336	615	721	73.4%	73.2%	73.5%
衆議院議員選挙	令和 3 年10月31日	1,775	828	947	1,380	643	737	77.8%	77.7%	77.8%
参議院議員選挙	令和 4 年 7 月10日	1,756	817	939	1,323	630	693	75.3%	77.1%	73.8%
県 議 会 議 員 選 挙	令和 5 年 4 月 9 日 (無投票)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
村長・村議会議員選挙	令和 5 年 4 月23日	1,698	776	922	1,557	720	837	91.7%	92.8%	90.8%

7 財 政

〔年度別歳入の状況〕

決算統計資料 (単位：千円)

内 訳	平成 30 年度		平成 31/ 令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
1 村 税	210,809	6.3%	211,187	5.6%	211,087	4.5%	206,279	4.0%	259,903	4.0%
2 地方譲与税	38,027	1.1%	55,578	1.5%	75,243	1.6%	75,842	1.5%	88,257	1.4%
3 利子割交付金	204	0.0%	73	0.0%	81	0.0%	68	0.0%	30	0.0%
4 配当割交付金	396	0.0%	307	0.0%	352	0.0%	315	0.0%	602	0.0%
5 株式等譲渡所得割交付金	312	0.0%	204	0.0%	345	0.0%	636	0.0%	419	0.0%
6 地方消費税交付金	39,768	1.2%	37,081	1.0%	45,774	1.0%	49,186	1.0%	48,949	0.8%
7 自動車取得税交付金	8,992	0.3%	5,887	0.2%	2,624	0.1%	2,736	0.1%	3,285	0.1%
8 法人事業税交付金		0.0%		0.0%	280	0.0%	1,172	0.0%	2,540	0.0%
9 地方特例交付金等	535	0.0%	6,074	0.2%	1,686	0.0%	2,883	0.1%	438	0.0%
10 地方交付税	1,432,902	42.5%	1,470,221	39.2%	1,997,519	42.6%	1,900,262	37.1%	2,017,696	31.4%
11 交通安全対策特別交付金		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
12 分担金及び負担金	4,360	0.1%	31,109	0.8%	12,156	0.3%	33,533	0.7%	26,782	0.4%
13 使用料	34,022	1.0%	34,814	0.9%	28,002	0.6%	27,960	0.5%	28,260	0.4%
14 手数料	1,673	0.0%	1,679	0.0%	1,629	0.0%	1,581	0.0%	1,583	0.0%
15 国庫支出金	364,603	10.8%	259,928	6.9%	874,638	18.7%	1,264,935	24.7%	719,923	11.2%
16 県支出金	155,339	4.6%	561,296	15.0%	156,624	3.3%	182,969	3.6%	181,370	2.8%
17 財産収入	35,630	1.1%	36,174	1.0%	28,125	0.6%	18,182	0.4%	16,984	0.3%
18 寄附金	1,969	0.1%	29,969	0.8%	58,363	1.2%	143,609	2.8%	1,237,365	19.2%
19 繰入金	247,439	7.3%	226,138	6.0%	358,364	7.6%	123,003	2.4%	541,355	8.4%
20 繰越金	370,873	11.0%	316,997	8.5%	362,380	7.7%	827,897	16.2%	731,174	11.4%
21 諸収入	42,557	1.3%	43,598	1.2%	75,481	1.6%	64,540	1.3%	186,444	2.9%
22 地方債	379,878	11.3%	418,878	11.2%	394,193	8.4%	197,783	3.9%	336,341	5.2%
合 計	3,370,288	100%	3,747,192	100%	4,684,946	100%	5,125,371	100%	6,429,700	100%

〔年度別歳出の状況〕

決算統計資料 (単位：千円)

内 訳	平成 30 年度		平成 31/ 令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
1 人件費	456,055	14.9%	484,787	14.3%	497,777	12.9%	519,939	11.8%	534,866	9.3%
2 物件費	432,459	14.2%	543,858	16.1%	487,242	12.6%	578,503	13.2%	1,242,790	21.7%
3 維持補修費	41,188	1.3%	32,548	1.0%	43,357	1.1%	36,675	0.8%	37,978	0.7%
4 扶助費	165,401	5.4%	159,372	4.7%	152,874	4.0%	213,652	4.9%	165,156	2.9%
5 補助費等	400,020	13.1%	396,643	11.7%	687,709	17.8%	478,038	10.9%	582,967	10.2%
6 公債費	273,919	9.0%	343,442	10.1%	399,515	10.4%	420,376	9.6%	424,132	7.4%
7 積立金	182,106	6.0%	88,174	2.6%	348,741	9.0%	645,235	14.7%	1,249,818	21.8%
8 投資及び出資金貸付金	25,468	0.8%	26,627	0.8%	25,223	0.7%	31,772	0.7%	31,793	0.6%
9 繰出金	235,827	7.7%	239,950	7.1%	254,083	6.6%	235,063	5.3%	238,159	4.2%
10 投資的経費	840,848	27.5%	1,069,411	31.6%	960,528	24.9%	1,234,944	28.1%	1,229,505	21.4%
内 普通建設事業費	670,425	22.0%	953,349	28.2%	573,618	14.9%	293,718	6.7%	601,965	10.5%
訳 災害復旧事業費	170,423	5.6%	116,062	3.4%	386,910	10.0%	941,226	21.4%	627,540	10.9%
合 計	3,053,291	100%	3,384,812	100%	3,857,049	100%	4,394,197	100%	5,737,164	100%
歳入歳出差引額	316,997		362,380		827,897		731,174		692,536	
翌年度に繰り越すべき財源	42,922		38,810		57,175		26,128		157,609	
実質収支	274,075		323,570		770,722		705,046		534,927	

〔村税等の収入の推移〕

決算統計資料 (単位：千円)

内 訳		平成 30 年度		平成 31/ 令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
		決算額	伸 率	決算額	伸 率	決算額	伸 率	決算額	伸 率	決算額	伸 率
村民税	個 人 税	48,641		50,673	4.2%	51,171	1.0%	54,320	6.2%	58,595	7.9%
	法 人 税	5,429		6,731	24.0%	6,522	-3.1%	4,914	-24.7%	9,556	94.5%
	小 計	54,070		57,404	6.2%	57,693	0.5%	59,234	2.7%	68,151	15.1%
固 定 資 産 税		142,773		139,604	-2.2%	139,184	-0.3%	132,465	-4.8%	176,707	33.4%
軽 自 動 車 税		8,598		8,724	1.5%	9,072	4.0%	9,279	2.3%	9,586	3.3%
た ば こ 税		4,264		4,280	0.4%	4,283	0.1%	4,531	5.8%	4,311	-4.9%
入 湯 税		1,104		1,175	6.4%	855	-27.2%	770	-9.9%	1,148	49.1%
計		210,809		211,187	0.2%	211,087	0.0%	206,279	-2.3%	259,903	26.0%
国民健康保険税		49,653		48,598	-2.1%	46,762	-3.8%	41,045	-12.2%	40,837	-0.5%
合 計		260,462		259,785	-0.3%	257,849	-0.7%	247,324	-4.1%	300,740	21.6%

〔一般会計及び特別会計決算額推移〕

決算書 (単位：千円)

会 計 名	平成 30 年度	平成 31/ 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額
一 般 会 計	3,053,291	3,384,812	3,857,049	4,394,197	5,737,164
国民健康保険特別会計					
国民健康保険特別会計(事業勘定)	280,533	286,341	295,823	276,838	232,829
国民健康保険特別会計(直診勘定)	9,495	10,531	10,615	10,286	8,158
簡 易 水 道 特 別 会 計	34,350	35,022	59,246	107,306	80,467
農業集落排水事業特別会計	57,222	61,721	61,043	87,036	59,858
下 水 道 事 業 特 別 会 計	42,233	37,060	36,226	36,702	39,178
介 護 保 険 特 別 会 計	349,441	348,171	363,256	395,917	384,471
林業集落排水事業特別会計	7,183	5,877	6,431	6,768	7,044
後期高齢者医療特別会計	30,046	30,600	33,162	33,533	38,247
特 別 会 計 小 計	810,503	815,323	865,802	954,386	850,252
合 計	3,863,794	4,200,135	4,722,851	5,348,583	6,587,416

8 社会福祉

〔保育所の状況〕

(令和5年3月現在)

保育所名	年 齢 別 人 口							職員数
	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計	
岩 野 保 育 所	6	6	15	5	12	11	55	15
湯 山 保 育 所	1	3	2	5	1	4	16	7
計	7	9	17	10	13	15	71	22

〔国民年金加入の状況〕

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
被 保 険 者 数	252	310	281	254	235	229	208	196

〔年金給付の状況〕

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
老 齢 年 金	863	883	880	883	880	883	875	867
障 害 年 金	52	54	55	54	55	53	56	54
遺 族 年 金	14	13	11	10	9	7	7	7

9 保健衛生

〔水道施設普及率〕 (令和5年3月)

	岩野地区	湯山地区	江代地区	計
地域別世帯数	448	311	90	849
村水道給水世帯	423	264	66	753
簡易給水世帯数	16	40	13	69
村全給水世帯	439	304	79	822
普及率	98.0%	97.7%	87.8%	96.8%

〔し尿・ゴミ処理状況〕 (令和4年4月～令和5年3月)

		し尿	ゴミ
処理計画人口	人	1,727	2,065
処理人口	人	1,669	2,013
年間総排出量		767	553,020 t
年間総収集料		756	408,710 t

〔各種検診の状況〕 (単位：人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基本健康診査	23	20	19	29	20	17	19	18	20	16
胃ガン検診	81	75	86	77	53	86	100	114	112	98
子宮ガン検診	152	146	155	160	124	122	137	120	119	110
乳ガン検診	185	193	193	204	181	185	188	176	158	163
大腸ガン検診	350	347	384	376	363	357	401	360	373	354
大腸ファイバースコープ	33	40	32	30	36	32	38	29	22	24
超音波検診	422	410	427	447	423	400	418	346	371	352
肺ガン検診	586	578	552	532	537	519	485	418	442	433
特定健康診査	331	272	270	272	294	275	276	243	263	216

10 交通・防犯

〔村内免許人口〕 (令和4年12月末現在)

	男	女	計
人数(人)	708	649	1,357

〔村内自動車保有台数〕 (令和5年3月現在)

用途	貨物自動車		乗合自動車		乗用自動車		特殊用途車		小計 (県税)
	普通車	小型車	普通車	小型車	普通車	小型車	普通・小型	大型特殊車	
直近	59	67	1	8	305	291	41	15	787

用途	軽自動車			2輪車	軽2輪	原付二種	原付一種	小型特殊	小計 (県税)
	貨物車	乗用車	特殊車	251以上					
直近	523	530	4	43	40	27	131	301	1,599

〔軽自動車保有台数〕

		令和元年度		令和4年度	
種類		台数	税額	台数	税額
一種	50cc	149	2,000	131	2,000
二種乙	90cc以下	6	2,000	6	2,000
二種甲	125cc以下	17	2,400	21	2,400
ミニカーB		0	3,700	2	3,700
軽二輪		34	3,600	40	3,600
ボートトレラー		1	3,600	2	3,600
軽四輪貨物 (自家用)	H26以前登録	216	4,000	143	4,000
	重課	222	6,000	210	6,000
	H27以降登録	79	5,000	169	5,000
軽四輪貨物 (営業用)		1	3,000	1	3,000
軽四輪乗用 (自家用)	H26以前登録	321	7,200	212	7,200
	重課	135	12,900	116	12,900
	H27以降登録	95	10,800	202	10,800
	25%軽減	2	8,100		
	50%軽減	1	5,400		
小型特殊(農耕用)		228	2,400	277	2,400
小型特殊(その他)		15	2,400	24	5,900
小型二輪		25	6,000	43	6,000
計		1,547	—	1,599	—

〔交通事故発生状況〕

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	3	0	0	0	2	0
死亡	0	0	0	0	0	0
傷者	3	0	0	0	2	0

〔火災発生状況〕

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
家	0	0	0	2	0	1
山	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0

重課：新規登録等から13年を超えた軽自動車について、軽自動車税を重くすること。
軽減：年非性能等の優れた軽自動車について、その性能に応じて軽自動車税を軽減すること。

11 建設

〔国・県道の状況〕

令和5年3月現在

区 分	路 線 名	総延長 (m)	改 良 済		舗 装 済	
			延 長 (m)	率 (%)	延 長 (m)	率 (%)
国 道	388号	16,326	14,009	85.8	16,326	100.0
県 道	上椎葉湯前線	20,572	6,842	33.3	20,572	100.0
〃	五木湯前線	9,729	4,763	49.0	9,729	100.0
〃	人吉水上線	1,566	1,566	100.0	1,566	100.0
〃	幸野染田線	105	0	0.0	105	100.0
	西の園中里線	294	259	88.1	294	100.0
計		48,592	27,439	56.5	48,592	100.0

〔村道の状況〕

令和5年3月現在

区 分	路線名	総延長 (m)	改 良 済		舗 装 済	
			延 長 (m)	率 (%)	延 長 (m)	率 (%)
1 級	5	17,307	17,307	100.0	17,307	100.0
2 級	6	7,760	7,760	100.0	7,760	100.0
その他	164	120,703	85,131	70.5	111,899	92.7
計	175	145,770	110,198	75.6	136,966	94.0

〔林道の状況〕

令和5年3月現在

区 分	総路線数	延長	舗装済	率
森林基幹道	4	65,515	54,675	83.5
森林管理道	23	53,148	16,985	31.7
計	27	118,664	71,660	60.2

〔公営住宅の状況〕

令和5年3月現在

団地名	戸数	建設年度	所在地	戸当床面積 (㎡)	団地名	戸数	建設年度	所在地	戸当床面積 (㎡)
戸 屋 野	4	S56	水上村大字江代2617-1	62.7	石 原	4	H8	水上村大字岩野2664	80.1
上 楠	4	S59	〃 大字岩野2595-1	59.8	堂 山	2	H13	〃 大字岩野1115	81.1
里 坊	4	S60	〃 大字岩野3423-1	59.8	北目第2	4	H14	〃 大字湯山1560-1	77.6
北 目	2	S61	〃 大字湯山1558	59.6	石原第2	2	H18	〃 大字岩野2715-1	78.9
魚 帰	4	S62	〃 大字江代1658-1	63.2	北目第3	2	H18	〃 大字湯山1581-1	78.9
下 里 坊	4	S63	〃 大字岩野3646	59.9	石原第2	2	H18	〃 大字岩野2715-1	78.9
下 里 坊	2	元年	〃 大字岩野3646	59.9	北目第3	2	H19	〃 大字湯山1581-1	77.4
高 瀬	4	H2	〃 大字岩野611-5	62.4	神 揚	2	H20	〃 大字湯山1251-3	78.9
湯山覚井	2	H4	〃 大字湯山808-1	73.2	湯山覚井	1	H21	〃 大字湯山808-1	78.9
湯山覚井	2	H4	〃 大字湯山808-1	68.3	上 里 坊	1	H22	〃 大字岩野3380	78.9
上古屋敷	2	H5	〃 大字江代1236-1	68.3	古 屋 敷	1	H22	〃 大字江代1252-4	75.3
石 原	4	H6	〃 大字岩野2663-1	80.1	上 里 坊	2	H23	〃 大字岩野3380	78.9
合 計					63				

〔一般住宅の状況〕

令和5年3月現在

団地名	戸数	建設年度	所在地	戸当床面積 (㎡)	団地名	戸数	建設年度	所在地	戸当床面積 (㎡)
幸 野	1	S53	水上村大字岩野150-1	58.9	岩野覚井1	1	H25	水上村大字岩野1110-1	84.9
高 瀬	2	元年	〃 大字岩野591-2	60.6	岩野覚井2	1	H26	〃 大字岩野1110-3	84.9
宮 田	1	S50	〃 大字岩野3040	53.3	岩野覚井3	1	H26	〃 大字岩野1107-3	84.9
湯 山	1	S56	〃 大字湯山1599	100.0	岩野覚井4	1	H27	〃 大字岩野1106-4	83.2
上 楠	1	元年	〃 大字岩野2595	103.0	岩野覚井5	1	H27	〃 大字岩野1106-1	83.2
石 原	2	S49	〃 大字岩野2741	102.1	岩野覚井6	2	S50	〃 大字岩野1045-1	44.5
石 原	2	S50	〃 大字岩野2741	102.1	岩野覚井	2	S49	〃 大字岩野1045-1	40.36
宮 田 2	1	H2	〃 大字岩野3040	70.1	岩野覚井	2	S50	〃 大字岩野1045-1	40.36
宮 田 3	1	S50	〃 大字岩野3040	53.3	丸 井	1	H30	〃 大字湯山342-3	43.67
下 覚 井	2	S58	〃 大字湯山680-3	52.7	丸 井	1	H30	〃 大字湯山342-3	43.67
宮 田 4	1	H2	〃 大字岩野3040	70.1	丸 井	1	H30	〃 大字湯山1527	40.36
宮 田 5	1	H2	〃 大字岩野3040	70.1	丸 井	1	H30	〃 大字湯山1527	40.36
宮 田	4	S48	〃 大字岩野2646-1	36.6	馬 場	1	R1	〃 大字湯山268-8	40.36
宮 田	4	S49	〃 大字岩野2646-1	41.6	北 目	4	S51	〃 大字湯山1558	40.36
宮 田	4	S51	〃 大字岩野2646-1	48.1	北 目	4	S52	〃 大字湯山1558	43.67
宮 田	2	S52	〃 大字岩野2646-1	48.1	柳 原	4	S48	〃 大字江代1855-1	43.67
中 覚 井	1	S61	〃 大字湯山797	94.9	石 原 5	1	R1	〃 大字岩野2669-1	40.36
丸 山 2	1	H3	〃 大字岩野866-2	72.0	石 原 6	1	R1	〃 大字岩野2669-1	40.36
丸 山 3	1	H6	〃 大字岩野866-2	72.0	下古屋敷	2	S49	〃 大字江代1660-2	40.36
丸 山 2	1	H3	〃 大字岩野866-2	72.0	石 原 6	1	R1	〃 大字岩野2669-1	40.36
合 計					67				

〔特定公共賃貸住宅〕

団地名	戸数	建設年度	所在地	戸当床面積 (㎡)
堂 山	2	H13	水上村大字岩野1115	87.6
石 原	2	H19	水上村大字岩野2715-1	81.6
合 計	4			

12 学校教育

〔現教育委員〕

職 名	氏 名
委員長	西 野 健
委 員	千 葉 弘 実
〃	尾 前 和 明
〃	余 利 英 徳
〃	上米良 明日香

〔歴代教育長〕

歴代	氏 名	就 任 年 月	退 任 年 月
1	山 中 泰	昭和27年10月	昭和46年 6 月
2	山 田 松 雄	昭和46年 6 月	昭和48年 9 月
3	椎 葉 清 林	昭和48年 9 月	昭和61年 9 月
4	高 松 一 成	昭和62年 4 月	平成 8 年 7 月
5	佐 藤 公 雄	平成8年9月19日	平成13年3月3日
6	雨 森 極	平成13年3月30日	平成19年4月2日
7	井 上 幸 典	平成19年8月21日	平成27年4月2日
8	西 野 健	平成27年8月1日	現在

〔学校施設の状況〕

令和5年4月現在

学 校 名	左の内訳				建 物 内 訳		教員数 (人)
	敷地面積 (㎡)	建物敷地 (㎡)	運動場 (㎡)	その他 (㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 (㎡)	
水上学園 前期課程	19,628	7,448	12,178		2,350	685	※20
水上学園 後期課程	35,918	12,752	17,531	5,635	3,358	1,080	※17
給 食 セ ン タ ー	水上学園 前期課程 敷地内	392			392		

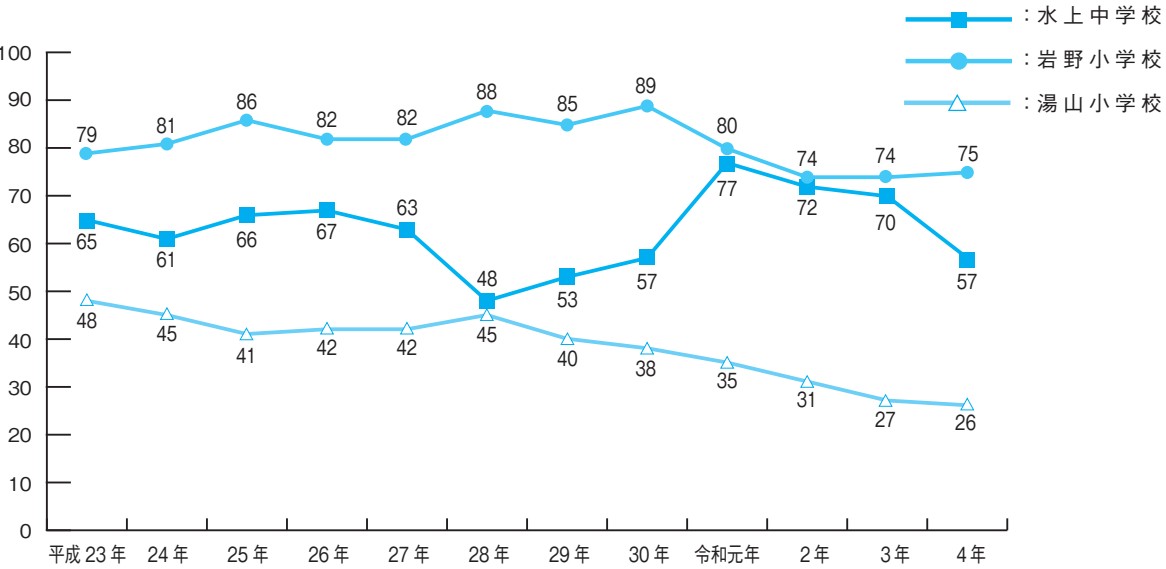
※会計年度任用職員含む

〔村内児童生徒数の推移〕

資料：学校基本調査

学 校 名	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
岩 野 小 学 校	79	81	86	82	82	88	85	89	80	74	74	75
湯 山 小 学 校	48	45	41	42	42	45	40	38	35	31	27	26
水 上 中 学 校	65	61	66	67	63	48	53	57	77	72	70	57

〔村内児童生徒の推移〕



13 社会教育

〔社会教育関係団体〕

令和5年4月現在

団 体 名	団体数	会員数
女 性 の 会	2	50
桜 友 会	1	16
P T A	1	149
子 ど も 会	11	110
老 人 ク ラ ブ	12	427

〔生涯学習〕

教 室 名	年間教室開催日数
習 字 教 室	25日
太 極 拳 教 室	39日
フ ラ ダ ン ス 教 室	7日
洋 裁 教 室	34日
陶 芸 教 室	100日
奥球磨セミナー・ 日 本 遺 産 講 座	2日

〔社会体育施設〕

施 設 名	所 在 地	用 途
村 民 体 育 館	岩 野	1,158㎡、男子バレー1面、女子バレー2面、バトミントン3面
夜 間 照 明 施 設	湯山（後期課程運動場）	19m×8基(106個)、LED容量（1個）555w 野球、ソフトボール等
古 屋 敷 運 動 公 園	江 代	ソフトボール、グラウンドゴルフ等
古 屋 敷 体 育 館	江 代	
水上スカイヴィレッジ	湯 山	陸上

〔学校体育施設〕

学 校 名	所 在 地	施 設 名
水上学園 後期課程	湯 山	運動場、体育館、プール、テニスコート
水上学園 前期課程	岩 野	運動場、体育館、プール
旧 湯 山 小 学 校	湯 山	運動場、体育館、プール

14 観 光

〔各所・旧跡〕

市房山	九州中央山地国定公園内にあって県下第2の高峰（1,721m）。原生林に覆われ、天然記念物の宝庫で、四季折々の景観も素晴らしい。
市房山神宮	市房山の中腹（4合目）にあり、大同2年（807年）草創と古く、登山口からの参道には樹齢1000年とも言われる大杉がある。昔から縁結びの神様として知られている。
市房山キャンプ場	市房山登山口にあり、電源ありオートキャンプサイトやドッグサイト、バンガローの他、冷暖房完備のログハウスもあり、多様なキャンプを楽しめる。
湯山温泉	湯山各所に硫黄泉が湧出しており、これを利用した旅館、民宿がある。また、平成4年には村営の温泉施設（元湯）もオープンし、地元の利用者はもちろん観光客の利用も多い。
市房ダム湖一万本桜	昭和37年にダム湖の周辺に植栽された1万本の桜を中心に、昭和59年からくまもと日本一桜の里づくり運動に着手し、水上村を代表する景観となっている。
市房ダム湖大噴水	市房ダムの中央に約80mの水柱を噴く大噴水は、ダム湖の浄化と水景作用で周囲の桜とうまく調和している。
桜図鑑園	全国から集めた70種類の桜が3月上旬から5月上旬にかけて開花する。みどりの花を付ける「御衣黄」や枝垂れ桜などの珍しい桜が楽しめる。
桜オーナーの森	村内4カ所のオーナーの森があり、村が一括管理し全国のオーナーの方が開花を楽しみにしています。
汗の原親水公園	園内に水の流れを取り入れ、身近に清流をイメージできる公園で、平成7年度には対岸と結ぶ吊橋「水輝橋」が完成し、観光客を楽しませている。
水上カントリーパーク（ほいほい広場）	広域農道沿いにあり、本村の玄関口としての機能の他、将来は鎮守の森となるような公園をめざしている。全長100mのローラーすべり台、天体観測施設などがある。
生善院（猫寺）	人吉球磨の藩主であった相良家の化け猫騒動にまつわる伝説の寺。その観音堂と厨子は国指定の重要文化財。相良三十三観音の二十四番目の札所である。
龍泉寺	毎日、夕暮れには入相の鐘が聞こえてくる趣深いお寺。相良三十三観音の二十四番目の札所である。
白水の夫婦滝	白水川の雄滝、白水滝川の雌滝からなり、春のシャクナゲ、夏の新緑、秋の紅葉、冬の凍った滝と、四季折々の景観が楽しめる。
白龍妃橋、白龍王橋	白水の夫婦滝にかかる120mの白龍妃橋と164mの白龍王橋は吊り橋として県下最長。吊橋の床には幅50cmの透明板が設置されスリルが味わえる。
白水神社	滝から少し下ったところにあり、蛇が奉ってある。武運長久、商売繁盛など霊験あらたかといわれ、神前には蛇の大好物の生卵が供えられている。
しゃくなげ公園	自生のシャクナゲ、植栽した西洋シャクナゲなど合わせて約2000本が、4月下旬から5月上旬にかけて咲きみだれる。
穴手尾の滝	五木村に通じる村道白蔵線の沿線にある落差25.7mの滝。
球磨川水源	日本三急流のひとつとして知られている。水源は水上村の奥部にあり、九州山脈の原生林の中腹、苔むした岩々の間からこつ然とわき出している。
その他神社仏閣	千人塚古墳（湯山本野）湯山一の宮神社（湯山神揚）、茂間ヶ崎水神社（湯山馬場）、岩野霧島神社（岩野宮田）、八幡神社（岩野上楠）、雨宮神社（岩野覚井）、今森神社（岩野高瀬）、八幡神社（江代戸屋野）、八幡神社（江代千ヶ平）
九州自然歩道コース	多良木より猫寺→湯前町→市房ダム→市房神社→朴の木原→白水神社→穴手尾の滝→五木村へ
湯山温泉元湯	昔ながら自然湧出しているという湯山温泉は、弱アルカリ性単純硫黄泉でとろりと肌に絡みつくような柔らかな湯質が別名「美人の湯」として人気を博している。温泉の効能は神経痛、筋肉痛はもちろんのこと、慢性消化器病、糖尿病、慢性婦人病にも有効とされている。また、昔から切り傷や皮膚病に特に効果があるとされている。
石倉交流施設	水上村湯山に昭和初期、米倉庫として建設利用されてきた石づくりの倉庫を景観的に生かすため、従来の石積みをもそのまま活用し「石倉交流施設」として整備、維持しながらグリーンツーリズム等の情報発信の拠点と都市住民との交流や地域住民が楽しめる場所となっている。
もみじ公園	江代古屋敷地区にあり、紅葉樹約50本が植栽されている。公園からは白水滝が遠望でき、秋には素晴らしい紅葉を楽しむことができる。また、親水池もあり、バラエティに富んだ自然を楽しめる。
もとゆの森	湯山地区にあり、園内には、湯山温泉の温泉をひいた足湯などがある。また、様々な樹木や草花が植栽され、それぞれに案内看板を設置しているため、遊びながら学べ、自然を満喫できる癒しの空間となっている。
水上スカイヴィレッジ	宮崎県椎葉村との境にあり、主に陸上競技の練習をメインとしたクロスカントリー施設である。2km、1km、0.5kmのクロスカントリーコースがあり、コースの真ん中には1周300mの全天候型トラックがある。敷地内には、アイシングプールや更衣棟、管理棟を有している。
水上サクラヴィレッジ	湯山地区にあり、トレーニング器具や歩行浴用温泉プールを有する生涯スポーツ施設である。施設内には、主に有酸素運動系トレーニング機器や高酸素ルーム、低酸素ルームを備えている。

〔旅 館〕

屋 号	電話番号	住 所
市 房 観 光 ホ テ ル	0966-46-0234	水上村大字湯山
M I Z U K A M I S O	0966-46-0835	〃
市 房 庵 な る お	0966-46-0221	〃

〔民 宿〕

屋 号	電話番号	住 所
桜 民 宿	0966-46-0108	水上村大字湯山
た び や ど 美 野 里	0966-46-0671	〃
農 家 の 宿 茶 乃 実	0966-46-0054	〃
民 宿 市 房	080-3994-6304	〃
民 宿 小 川	0966-46-0129	〃
民 宿 お の や	0966-46-0552	〃
民 宿 川 原	0966-46-0063	〃
別 館 番 所	〃	〃
民 宿 山 水	0966-46-0027	〃
ゆ き ど ま り の 静 宿 瓢 鰻 亭	0966-46-0122	〃
稲 荷 さ ん の 宿 遊 庵	0966-44-0229	水上村大字岩野
民 宿 白 水	0966-46-1105	水上村大字江代

〔飲 食〕

屋 号	電話番号	住 所
Café On The Water	0966-46-0835	水上村大字湯山
郷 商 店	0966-46-0012	〃
山 遊 館 夢 旬	0966-46-0071	〃
物産館「水の上の市場」	0966-46-0111	〃
ログカフェ市房の風	090-7399-0083	〃
山 小 屋	0966-46-0818	〃
山 の 幸 館	0966-46-0052	〃
や ま ち ゃ ん 食 堂	0966-46-0067	〃
大 川 商 店	0966-44-0126	水上村大字岩野
ふ き の と う	0966-44-0248	〃
米 本 商 店	0966-46-1010	水上村大字江代

15 文化財

指定別	区 分	名称及び物件	所在地	管理団体及び所有者	指定年月日
国指定	天然記念物	ゴイシツバメシジミ	市房山麓 ※地域を定めず		昭50. 2.13
	有形文化財	生善院観音堂（附厨子1基）	岩野里坊	生善院	平 2. 9.11
	無形民俗文化財	球磨神楽	※複数の市町村に及ぶ	球磨神楽保存会	平25. 3.12
県指定	天然記念物	ツクシアケボノツツジ	市房山	国	昭34.10.27
村指定	有形文化財	阿弥陀如来尊座像	湯山覚井慈眼院境内	湯山覚井区	昭61. 7.15
		木造十一面観世音菩薩立像	岩野川内水清谷	代表 廣瀬 信幸	昭61. 7.15
		木造大辯功德天立像	岩野上楠龍泉寺境内	龍泉寺住職 永石 一光	昭61. 7.15
		木造婆藪仙人立像	岩野上楠龍泉寺境内	龍泉寺住職 永石 一光	昭61. 7.15
		銅製鰐口	岩野宮田霧島神社境内	岩野宮田区	昭61. 7.15
		岩野霧島神社本殿	岩野宮田霧島神社境内	岩野霧島神社	平11. 3.16
		水神社内神像等11種	湯山馬場ごしんさん内	湯山馬場区	平12. 1.11
		木造千手観音立像	岩野里坊生善院境内	生善院	平12. 1.11
		聖観音立像	岩野上楠龍泉寺境内	龍泉寺住職 永石 一光	平12. 1.11
		生善院山門	岩野里坊生善院境内	生善院	平24.10. 1
		生善院本堂	岩野里坊生善院境内	生善院	平28.12. 1
		生善院庫裏	岩野里坊生善院境内	生善院	平28.12. 1
	無形文化財	川内平家踊り	岩野川内	保存会代表 坂下 成一	昭48.10.11
		上楠臼太鼓踊り	岩野上楠	保存会代表 中村 治	昭48.10.11
		千ヶ平虎踊り	江代千ヶ平	保存会代表 森山 清人	昭54. 3.31
		白水神楽	江代平谷	保存会代表 高橋 一人	平 2. 4.16
	天然記念物	ウスギキンモクセイ	岩野里坊生善院境内	生善院	昭53. 3.31
		ヒノキ	江代平谷白水神社境内	白水神社	昭53. 3.31
		タブ	岩野高瀬	水上村	昭54. 3.31
		ムク	千ヶ平八幡神社	古屋敷区	昭54. 3.31
		イチョウ	一の宮神社前	一の宮神社	昭54. 3.31
	史 跡	千人塚古墳群	湯山本野	水上村	昭56. 8. 1

16 年 表

大正 9 年 5 月 (1920年)	岩野に電灯点ずる	大同 2 年 (807)	市房山神宮草創、白水神社草創
大正13年3月31日	湯前線開通	大同 4 年	岩野一の宮権現社草創（明治以降、霧島神社）
大正13年 3 月	古屋敷白水発電所完成	文安年中	湯山一の宮神社草創
昭和 4 年 5 月	岩野覚井耕地整理完成	寛正 2 年 (1461)	岩野若宮神社草創
昭和 8 年 5 月	新橋郵便取扱所開設（新橋はダム建設により水没）	永正初年 (1504)	普門寺、湯山より岩野に移転
昭和13年 6 月	古屋敷郵便局開設	天龜年中	岩野小野山八幡神社草創
昭和13年11月	新橋郵便局を湯山へ移転、湯山郵便局と称する	天正10年 (1582)	3 月、湯山佐渡守の弟、普門寺の住職盛譽殺害される。4 月、盛譽の母、玖月善女、茂間が淵（ごしんさん）に投身自殺（猫寺騒動の始まり）
昭和15年4月29日 (1940年)	雨森友房氏勲 7 等瑞宝章受章	天正11年	岩野里坊に玖月善女供養の五輪塔（後の生善院の地）造立
昭和16年 4 月	小学校を国民学校に改称	慶長 9 年 (1604)	普門寺を湯前城内に移転
昭和16年12月 8 日	大東亜戦争開戦	寛永 2 年 (1625)	生善院観音堂及び生龍権現社草創
昭和18年12月20日	椎葉良房氏勲 7 等瑞宝章受章	天和 3 年 (1683)	湯前村と岩野村分村
昭和20年 5 月	教育決戦非常措置令に基づき学校分散教育開始	元禄 9 年 (1696)	幸野溝工事着工
昭和20年 8 月15日	大東亜戦争終戦	元禄15年	小川内川に津留堰築造
昭和20年 9 月 (1945年)	学校分散教育廃止	享保 5 年 (1720)	小川内川に諏訪堰築造
昭和21年11月24日	村役場全焼	享保13年	小川内川に内山堰築造
昭和22年 4 月	国民学校を小学校と改称、高等科を廃止水上中学校創立	明治 4 年 7 月	廃藩置県により人吉県と改称
昭和22年 9 月	水上局電話交換事務開始	明治 4 年11月	人吉県と八代県合併
昭和25年 1 月	シャンシャン焼畑に村民運動場設置	明治 5 年 8 月	全国に大中小学区制発布、本郡は第 6 大学区第 17 番小学区に属し、第 11 番小学区湯前、湯山村、第 12 番小学区に岩野、江代村となる
昭和27年10月	中学校各分校を閉鎖し新橋の校舎に統合	明治 6 年 1 月	八代県は白川県に合併、岩野村は第 48 大区第 3 小区、江代村は同第 4 区、湯山村は同第 5 小区になる
昭和27年11月	水上中学校落成	明治 6 年 2 月	岩野小学校開校
昭和28年10月	建設省より市房ダム着工の通知	明治 7 年 8 月	球磨郡第 14 大区に、岩野、江代、湯山村と湯前村第 10 小区になる
昭和29年 9 月	台風 12 号襲来、江代地区甚大な被害を被る	明治 8 年 5 月	湯前村上里小学校の分教場として湯山小学校開校
昭和30年 4 月	市房山県立公園指定	明治 9 年 2 月	白川県を熊本県と改称
昭和30年 9 月 (1955年)	台風 22 号により岩野小講堂倒壊	明治10年 2 月 (1877年)	江代小学校開校
昭和31年 2 月	市房ダム建設反対の決議を取消す	明治12年 1 月	大小区制廃止、湯山村は湯前村と、岩野村と江代村は黒肥地村とそれぞれ組合村制となる
昭和31年 9 月	岩野小学校講堂落成	明治14年5月10日	英国人ジョージ・ルイス、湯山に於いてネオカジャコンフラゴザ（ゴブハナダカカメシ）を発見
昭和32年 6 月	市房ダム起工式	明治15年8月16日	岩野郵便局開設
昭和33年 3 月	江代小学校廃校	明治17年 8 月	江代小学校古屋敷分校（古屋敷小学校）開校
昭和33年10月	市房発電所起工	明治19年 7 月	湯山小学校湯前上里小学校より独立
昭和34年 8 月	水上中学校体育館現在地に落成	明治22年 4 月	町村制施行、湯山村は湯前村と分離。岩野村江代村は黒肥地村と分離。湯山村、岩野村、江代村の組合村をつくる。役場を岩野におく。
昭和34年 9 月	ツクシアケボノツツジ県指定天然記念物に指定	明治28年11月28日 (1895年)	岩野村、江代村、湯山村合併して水上村とする
昭和34年12月	岩野小学校校舎落成	大正 3 年12月	小川内耕地整理着工
昭和34年12月	湯山地区簡易水道通水開始	大正 4 年 4 月	古屋敷小学校、江代小学校より独立
昭和35年 1 月	市房ダム完工	大正 5 年11月	小川内耕地整理完成（面積 8 町 2 反 6 畝 5 歩）
昭和35年 2 月	水上中学校校舎落成	大正 6 年 4 月	岩野郵便局を水上郵便局と改称
昭和35年 3 月	市房発電所発電開始		
昭和35年 7 月	市房ダム完工式		
昭和35年 8 月	役場庁舎を市房発電事務所庁舎跡に移転		
昭和35年10月	古屋敷保育所落成		
昭和35年10月1日	杉野石蔵氏藍綬褒章受章		
昭和36年3月25日	湯山小学校移転校舎落成		
昭和36年 9 月	議員定数削減（20 名を 18 名に）		
昭和36年11月1日	湯山小学校体育館落成		
昭和36年11月	スクールバス運行開始		
昭和36年11月	岩野地区簡易水道通水開始		
昭和36年11月	市房ダム湖周辺に桜植栽（1 万本桜の始まり）		
昭和37年 4 月	岩野保育所落成		
昭和37年 9 月	市房観光ホテル落成		
昭和37年 9 月	古屋敷簡易水道通水開始		
昭和37年 9 月	生善院観音堂県指定文化財に指定		
昭和37年 9 月	市房山キャンプ場開設		

昭和55年 5月	自然休養村事業により岩野に管理センター完成
昭和55年 7月	湯山小学校火災、4教室と便所等焼失
昭和55年11月	湯山小学校復旧完了
昭和55年11月3日	梶原袈雄氏勲5等双光旭日章受章
昭和56年 3月	水上村商工会館完成
昭和56年 8月	役場庁舎改築着工
昭和56年 8月	村指定文化財に千人塚古墳指定
昭和57年 3月	古屋敷運動公園夜間照明施設付で完成
昭和57年 3月	村花に「石楠花」を指定
昭和57年 4月	水上、湯前森林組合合併して上球磨森林組合発足
昭和57年 4月	九州電力古屋敷発電所完成
昭和57年 4月	県道入吉日向線、国道 446（現 388）号に昇格
昭和57年 5月	役場庁舎落成
昭和57年 5月	市房山周辺、九州中央山地国定公園に指定
昭和57年 7月	梅雨前線豪雨により被害、特に北目川水域大被害
昭和57年 9月	湯山地区簡易水道改良事業着工
昭和58年 2月	農業共済組合球磨全域の合併
昭和58年11月	広域基幹林道上米良大平線着工
昭和58年12月	野々平入会林野整備事業完了
昭和58年12月	湯山地区圃場整備着工
昭和59年 2月	日本カモシカ、市房ダムで死体で発見、ハクセイを市房総合センターに陳列
昭和59年 2月	湯山診療所荘野先生退任で閉鎖、5月球磨病院により再開
昭和59年 4月	山村基幹農道（舟石～祓川間）開通
昭和59年 4月	上球磨森林組合事務所完成
昭和59年 5月	第1回石楠花まつり
昭和59年 5月	藤絹織物水上工場操業開始
昭和59年 5月	広域基幹林道北目平谷線開通
昭和59年 5月	荒嶽茂氏勲6等単光旭日章受章
昭和59年 7月	岩野歯科診療所開所
昭和59年 9月	村木に「杉」、村鳥に「セキレイ」を指定
昭和59年 9月	椎葉庄一氏勲6等単光旭日章受章（死亡叙勲）
昭和59年11月	「日本一桜の里づくり」事業始まる
昭和59年11月3日	黒木国重氏勲6等単光旭日章受章
昭和59年11月3日	荘野将氏藍綬褒章受章
昭和60年 3月	桜図鑑園造成
昭和60年11月	村制施行 90周年記念式典
(1985年)	
昭和61年 4月	地籍調査事業着手
昭和61年 5月	椎葉良房氏勲6等単光旭日章受章（死亡叙勲）
昭和61年10月28日	小川経基氏勲6等瑞宝章受章（死亡叙勲）
昭和61年11月3日	雨森友房氏勲5等双光旭日章受章
昭和62年 1月	桜太鼓創作始まる
昭和62年 3月	上球磨森林組合小径木加工工場落成
昭和62年 3月	細川県知事を招き高城公園桜オーナーの森で記念植樹祭開催
昭和62年 4月	村議会議員定数削減（15名を13名に）
昭和62年 9月6日	林田直太氏勲6等瑞宝章受章（死亡叙勲）
昭和63年 4月29日	椎葉清林氏勲5等双光旭日章受章
平成元年1月7日	昭和天皇崩御、元号が昭和から平成へ
平成元年 4月	水上村社会福祉協議会の法人化
平成元年 8月17日	山中芳太郎氏勲6等瑞宝章受章（死亡叙勲）
平成元年10月	第3セクターくま川鉄道開業
平成元年12月	九州自動車道八代～人吉間（38.5km）開通
(1990年)	
平成 2年 3月	白龍妃大吊橋完成

昭和38年 4月	湯山保育所落成
昭和39年 5月	尾前庄八氏勲7等旭日章受章
昭和39年 5月	東宗雄氏勲8等旭日章受章
昭和39年 5月	田川常人氏勲8等旭日章受章
昭和40年 5月	椎葉房夫氏戸屋野の自宅畑でネオカジャコンフラゴザを発見（全世界で4匹目）
昭和40年11月3日	杉野石蔵氏勲5等瑞宝章受章
(1965年)	
昭和41年 3月	市房山神宮参道の大杉皇居御用材として切出す
昭和41年 3月	平畑林道開通
昭和41年 3月	白蔵林道開設始まる
昭和41年 3月	議員定数削減（18名を15名に）
昭和43年 1月	給食センター完成、学校給食始まる
昭和43年10月	犬飼脩氏献穀米を献上
昭和43年10月	林道北目平谷線開設着工
昭和44年 3月	農業構造改善事業により矢立原牧場完成
昭和44年 6月	湯山、岩野農協合併し水上村農協発足
昭和44年10月	村章決定
昭和45年 2月	林業構造改善事業により森林組合チップ工場完成
昭和45年 2月	農業構造改善事業により栗選果場完成
昭和45年 7月	水上村史発刊
昭和45年 9月	中野織布水上工場誘致工場として操業
昭和46年 4月	市房山中腹にテレビ中継塔完成
昭和46年 8月	台風 19号により未曾有の大被害、死者 5名被害額約 30億円
昭和46年11月3日	郷米蔵氏勲6等単光旭日章受章
昭和47年 4月	県立多良木高等学校水上分校開校
昭和47年 4月	ゴミの収集業務始まる
昭和47年 8月	水上中学校プール完成
昭和48年 4月	第1回湯山温泉桜まつり
昭和48年 4月	市房山キャンプ場青少年旅行村に指定
昭和48年 7月	上球磨圃場整備事業着工
昭和48年11月	岩野小学校開校 100周年記念式典
昭和48年11月	市房総合センター・ユースホステル市房完成、同センター開館記念として市房音頭、水上の夜作成発表
昭和49年 3月	へき地集会所施設、古屋敷体育館と川内分校集会所完成
昭和49年 3月	本野開拓組合解散（創立昭和 28年 1月）
昭和49年 7月	岩野小学校プール完成
昭和49年 7月	市房総合センタープール広域圏事業で完成
(1975年)	
昭和50年 4月	上球磨圃場整備事業水上工区着工
昭和50年 7月	湯山小学校、古屋敷小学校プール完成
昭和50年 9月	新生活運動実践始まる
昭和50年11月	湯山小学校開校 100周年記念式典
昭和51年 7月	水上中学校夜間照明施設完成
昭和52年 9月	学校給食週 2日の米飯給食始まる
昭和52年10月	古屋敷小学校及び江代小学校開校 100周年記念式典
昭和52年11月	地方自治法施行 30周年記念式典
昭和53年 3月	村民体育館落成
昭和53年 5月	全村電話ダイヤル化完了
昭和53年10月	広域基幹林道白蔵線開通
昭和54年 3月	九州電力古屋敷発電所建設に同意調印
昭和54年 9月	天皇・皇后両陛下に水上村の栗献上
昭和54年10月	広域基幹林道梅木鶴線着工
昭和55年 3月	第1回桜まつり中学校招待野球、ソフト大会

平成 8 年 8 月	県営笠振発電所落成
平成 8 年10月	古屋敷小柳原分校廃校
平成8年11月3日	大石正氏勲 5 等双光旭日章受章
平成8年11月3日	那須利治氏勲 6 等瑞宝章受章
平成8年11月3日	右田堅吉氏勲 7 等青色桐葉章受章
平成9年4月16日	岩野公民館完成
平成9年4月29日	藏座利秋氏勲 5 等瑞宝章受章
平成 9 年10月	本野地区園場整備着工
平成 9 年10月	湯山地区農業集落排水施設供用開始
平成 9 年11月	湯山小学校改築着工
平成 9 年12月	岩野地区公共下水道事業着工（球磨川上流流域下水道事業）
平成10年4月29日	信國守一郎氏勲 5 等双光旭日章受章
平成10年 5 月	県立市房自然公園改名、奥球磨県立自然公園へ改称
平成10年 6 月	本野地区農業集落排水事業着工
平成10年 7 月	「集いの里」完成式典（旧岩野小学校跡地）
平成10年 7 月	広域基幹林道上米良大平線水上工区完成
平成10年10月	古屋敷地区簡易水道改修着工
平成10年10月	湯山小学校校舎・体育館落成
平成11年 3 月	広域基幹林道岩野白蔵線着工
平成11年 4 月	湯山商店街街路灯完成
平成11年 7 月	湯山小学校改築事業文部大臣奨励賞受賞
平成11年9月14日	本野地区農業集落排水施設処理場着工
平成11年10月15日	国民体育大会炬火採火式（市房神社）
平成11年10月	第 54 回国民体育大会開催（県下）
平成11年10月25日	第 10 回市房山登山マラソン大会
平成11年11月21日	湯山小学校改築総合落成
平成11年12月	湯山温泉元湯、入場者数 50 万人達成
平成12年1月25日	田山一郎氏勲 6 等単光旭日章受章（死亡叙勲）
（2000年）	
平成12年1月31日	湯山保育所落成
平成12年3月29日	古屋敷保育所閉所
平成12年3月30日	古屋敷地区簡易水道完成
平成12年3月31日	上球磨森林組合中目製材所落成
平成12年 4 月	本野地区農業集落排水施設供用開始
平成12年 4 月 1日	介護保険制度始まる
平成12年 4 月 3日	湯山郵便局移転開局
平成12年 4 月31日	カヌー館（あめんぼ一館）開館
平成12年 9月29日	本野地区総合落成
	農業集落排水処理施設、村道覚井本野線、園場整備
平成12年11月 3日	服部重實氏勲 5 等瑞宝章受章
平成13年 2 月 8日	生善院（猫寺）観音堂保存修理工事着工
平成13年 3 月	議員定数削減（13 名を 11 名に）
平成13年 3月24日	生善院観音堂一般公開
平成13年 3月24日	神揚地区せせらぎ公園落成
平成13年 3月25日	古屋敷小学校閉校
平成13年 4 月	岩野地区公共下水道供用開始（球磨川上流流域下水道）
平成13年 4月29日	市房山キャンプ場大型ログハウス落成式
平成13年 4 月	古屋敷地区林業集落排水施設着工
平成13年 5月15日	古川地区簡易水道落成
平成13年 9月27日	ユースホステル市房解体
平成13年11月 3日	那須康八氏勲 5 等双光旭日章受章
平成13年11月16日	湯山小学校 PTA の文部科学大臣賞表彰
平成13年12月9日	千ヶ平虎踊り 16 年ぶり復活披露
平成14年3月31日	国道 388 号奥球磨ループ橋開通

平成 2 年 3 月	県立多良木高等学校水上分校開校
平成 2 年 7 月	生善院観音堂、国指定重要文化財に
平成 2 年 9 月	第 27 回全国花いっぱいコンクールで湯山小学校優良校に入賞
平成 2 年10月	第 1 回市房山登山マラソン大会
平成2年11月3日	中村房夫氏勲 5 等瑞宝章受章
平成 3 年 3 月	白龍王大吊橋完成
平成 3 年 3 月	市房ダム湖大噴水施設完成
平成 3 年 3 月	第 20 回湯山温泉桜まつり
平成 3 年 6 月	高齢者生活福祉センター（桜寿苑）落成
平成 3 年 7 月	水上中学校校舎落成
平成 3 年 9 月	台風 19 号により山林等大被害
平成 4 年 3 月	交通安全優良校に古屋敷小学校表彰
平成 4 年 3 月	噴水公園展望所完成
平成 4 年 3 月	岩野商店街街路灯完成
平成 4 年 7 月	湯山温泉「元湯」落成開業
平成 4 年 7 月	群馬県水上町と姉妹町村盟約を締結
平成 4 年10月	球磨地域農協発足（中球磨農協を除く 10 農協合併）
平成 5 年 1 月	国道橋、水上大橋（幸野）開通
平成 5 年 3 月	群馬県水上町中学生との修学旅行交流訪問始まる
平成 5 年 4 月	岩野小学校校舎改築完成
平成 5 年 4 月	市房ダムに陸封アユ生息を確認
平成 5 年 5 月	市房山キャンプ場、本格的なログハウスによる整備第 1 期完成
平成 5 年 5 月	中野織布水上工場（昭和 45 年～）閉鎖
平成 5 年 7 月	県営笠振発電所起工
平成 5 年 8 月	台風 7 号上陸、市房のシンボル夫婦杉上半部折損
平成 5 年 9 月	戦後最大級の台風 13 号九州上陸、古屋敷地区 185 世帯孤立
平成 5 年10月	産交バス柳原まで路線延長
平成 6 年 1 月	岩野小学校体育館改築完成
平成 6 年 1 月	湯山温泉元湯、入場者数 10 万人達成
平成 6 年 1 月	市房山夫婦杉伐採（直径 2m12cm・2m22cm）
平成 6 年 3 月	水上斎場（菩提苑）待合室改築完成
平成 6 年 5 月	白水郷土文化伝習施設完成
平成 6 年 6 月	水上村・椎葉村上球磨消防組合相互応援協定と救急業務に関する取り決めを結ぶ
平成6年12月22日	富山力治氏勲 6 等単光旭日章受章（死亡叙勲）
平成 6 年12月	今森神社裏より縄文期の千枚岩製石鏃発見（高瀬）
平成 7 年 1 月	広域農道原の淵橋完成
平成7年2月10日	野田好雄氏勲 6 等単光旭日章受章（死亡叙勲）
平成 7 年 3 月	第三セクター球磨プレカット設立
平成 7 年 3 月	水上カントリーパーク（ほいほい広場）完成
平成 7 年 3 月	岩野小学校プール完成
平成 7 年 4 月	汗の原親水公園完成
平成 7 年 4 月	岩野保育所完成
平成 7 年 7 月	九州自動車道古～えびの開通。青森～鹿児島・宮崎まで 2,150km、全線開通
平成 7 年 8 月	湯山バイパス供用開始
平成 7 年11月	村制 100 周年記念式典・記念碑除幕式・タイムカプセル埋設（2025 開封）
平成 7 年11月	広域農道（フルーティーロード）開通式
平成 8 年 3 月	汗の原親水公園に水輝橋完成
平成8年1月27日	那須才吉氏勲 6 等単光旭日章受章（死亡叙勲）
平成 8 年 6 月	水上村保健センター完成
平成 8 年 6 月	湯山地区農業集落排水処理施設（せきれい）完成

平成23年11月3日	雨森極氏瑞宝双光章受章
平成24年2月1日	打越仲雄氏高齢者叙勲旭日単光章受章
平成24年2月	水上中学校 LED 夜間照明施設完成
平成24年4月29日	成尾政紀氏旭日双光章受章
平成24年7月	水上村森林セラピー基地グランドオープン
平成24年11月3日	杉野二男氏旭日双光章受章
平成24年11月	半仁田保氏寄贈山林記念碑「高山景行」除幕式
平成25年1月	第1回公認奥球磨ロードレース大会開催
平成25年3月	森林基幹道湯山峠小崎線工事着工
平成25年3月	荒嶽昭八氏総務大臣表彰受章
平成25年4月	甲斐福一氏旭日双光章受章
平成25年6月	女性消防隊発足
平成25年7月	半仁田保氏紺綬褒章受章
平成25年11月	小野頼年氏 IJF ベテラン国際柔道大会で優勝
平成25年11月	上楠「八幡神社」拝殿改築
平成25年12月	湯山北目地区の「山の神」神社に鳥居建立
平成25年12月	江代地域防災拠点施設完成
平成26年2月	人吉球磨10市町村と熊本県トラック協会との災害時緊急輸送協定締結
平成26年3月	森林基幹道岩野白蔵線完成
平成25年3月	森林基幹道湯山峠小崎線工事着工
平成26年4月	椎葉正氏高齢者叙勲旭日単光章受章
平成26年4月	鳥インフルエンザ多良木町で発生
平成26年8月	地域密着型小規模特別養護老人ホーム「桜なみき」落成
平成26年9月	地域密着型小規模特別養護老人ホーム「桜なみき」開設
平成26年10月	永石一光氏地方教育行政功労賞受賞
平成26年11月	内山勘七氏厚生労働大臣表彰受賞
平成26年11月	総合防災訓練初めでの実施
平成27年1月	人吉球磨定住自立圏形成協定締結
平成27年3月	汗の原親水公園駐車場嵩上工事完成
平成27年3月	森林基幹道上米良大平線全線舗装完成
平成27年4月	村議会議員選挙 議員定数（10名）立候補者同数により無投票
平成27年9月	小中学校 ICT 環境整備備品の購入
平成27年10月	学校給食無料化
平成27年11月	村制120周年記念式典
平成27年11月	スクールバス（江代車）新車納入
平成27年11月	山中美智代氏藍綬褒章受章
平成27年12月	古川地区合併処理浄化槽整備完了
平成28年1月	マイナンバー制度開始
平成28年2月	水上中学校体育館 LED 屋根等改修完了
平成28年3月	村内地籍調査事業完了
平成28年4月14・16日	平成28年熊本地震発生
平成28年4月	飯田佳司氏旭日双光章受章
平成28年4月	水上村クロスカントリー施設「水上スカイヴィレッジ」着工
平成28年5月	総合防災システム整備着工
平成28年6月	水上村産業推進機構発足
平成28年8月	熊本地震の被災地支援（みんなの家へテーブル、ベンチ贈呈）
平成28年11月	深水敬二郎氏瑞宝小綬章受章
平成28年11月	坂口行宏氏藍綬褒章受章
平成28年11月	藏座昭生氏黄綬褒章受章
平成28年11月	ジビエ処理加工施設完成
平成28年12月1日	生善院本堂並びに庫裏（くり）の文化財指定

平成14年4月	球磨地域農業協同組合発足（人吉・球磨全域合併）
平成14年5月	水上村給食センター落成
平成14年6月	生善院（猫寺）観音堂保存修理工事完成
平成14年9月	水上中学校柔道場落成
平成14年11月3日	岩崎強氏勲5等瑞宝章受章
平成14年11月	人吉球磨クリーンプラザ落成
平成15年3月	県道上椎葉湯前線江代橋開通
平成15年3月	特別養護老人ホーム「桜の里」落成
平成15年3月	岩野地区公共下水道事業完成（球磨川上流流域下水道事業）
平成15年4月	川内上・下区が合併し川内区に改称
平成15年5月	川内地区簡易水道落成
平成15年5月	第三セクター株式会社みずかみ開業
平成15年7月	古屋敷地区林業集落排水施設供用開始
平成15年7月	古屋敷郵便局戸籍事務開始式
平成15年10月	第14回市房山登山マラソン大会（最終）
平成16年3月	古屋敷地区移動通信用鉄塔施設完成
平成16年4月	球磨川水源の森購入（錦・あさぎり・多良木・湯前・水上）
平成16年5月	シルバー人材センター設立
平成16年7月	湯山郵便局戸籍事務開始式
平成16年9月	第15回全国さくらサミット本村で開催
平成16年11月3日	半仁田保氏旭日双光章受章
平成16年11月	戸籍電算システム開始式
平成17年3月	古屋敷もみじ公園落成
平成17年3月	もとゆの森公園落成
平成17年7月	水上郵便局戸籍事務開始式
平成17年9月	県道上椎葉湯前線古川工区開通式
平成18年3月	川内地区移動通信用鉄塔施設完成
平成18年10月	上球磨消防署東分署開始式
平成18年12月	岩野地区簡易水道水源地涵養林購入
平成19年3月	戸屋野地区水道改良
平成19年3月	石倉交流施設落成
平成19年9月	球磨川水源の森記念碑「蒼山水保」建立除幕式
平成20年11月	川内公民館改築工事完成
平成21年2月1日	井手邦弘氏高齢者叙勲旭日単光章受章
平成21年7月	生善院で晋山式開催
平成21年11月	第1回公認熊本水上ロードレース大会開催
平成21年11月3日	小野信親氏旭日双光章受章
平成22年1月	スクールバス（湯山車）新車納入
平成22年3月25日	佐本橋改築工事開通式
平成22年3月	森林基幹道上米良大平線全線開通
平成22年4月1日	熊本県初となる森林セラピー基地認定
平成22年4月	家畜伝染病「口蹄疫」宮崎県で発生（湯山峠にて防疫対策）
平成22年6月16日	議員定数削減（11名を10名に）
平成22年9月30日	水上村、椎葉村の境界確定
平成23年1月9日	故服部重實氏特旨叙位従六位受章
平成23年3月11日	東北地方太平洋沖地震発生
平成23年3月	市房ダム完成50周年記念、水没移転者記念碑建立式典
平成23年3月	第40回湯山温泉さくらまつり（東北地方太平洋沖地震のため自粛）
平成23年4月	水上村消防団消火協力隊発足
平成23年9月	湯前町・水上村東北地方太平洋沖地震災害復興支援協議会、仙台市へ建築材支援
平成23年10月	尾前武志氏天皇陛下へ献穀米献上

令和2年 2月	新型コロナウイルス感染症県内で初確認
令和2年 3月	新型コロナウイルスの流行に伴う学校休校
令和2年 3月	第49回湯山温泉桜まつり・花より団子マラソン中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)
令和2年 4月	新型コロナウイルス感染症人吉球磨管内で初確認
令和2年 4月	熊本県を含むすべての都道府県へ緊急事態宣言発令
令和2年 6月	大石長一郎氏旭日双光章受章
令和2年 7月	尾方隆徳氏旭日単光章受章(死亡叙勲)
令和2年 7月	令和2年7月豪雨発生 県南地域に甚大な被害 本村被害総額30億4,542万6千円
令和2年 8月	GIGAスクール構想により児童生徒1人1台タブレット整備
令和2年11月	スカイヴィレッジクロスカントリー初開催
令和3年 3月	物産館水の上の市場 屋外軽食販売コーナーオープン
令和3年 3月	SAKURA 未来塾開始
令和3年 3月	議員定数削減(10名を8名に)
令和3年 3月	市房ダム発電所市房第一・第二発電所リニューアルオープン
令和3年 3月	江代平谷地区、古屋敷地区へ合併
令和3年 3月	第50回湯山温泉桜まつり・花より団子マラソン中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)
令和3年 4月	水上村議会タブレット導入
令和3年 5月	新型コロナワクチン集団接種開始(令和5年12月まで延べ50回実施)
令和3年 5月	日本郵政株式会社と包括連携協定締結(県南18市町村)
令和3年 5月	庁舎エレベーター運用開始
令和3年 5月	岩野小学校 学校情報化優良校認定
令和3年 8月	水上村気象情報配信システム運用開始
令和3年 9月	第1回小中一貫教育推進説明会開催
令和3年 9月	岩野小学校 学校情報化先進校認定
令和3年10月	スクールバス(14人乗り)新車購入
令和4年 1月	湯山小学校 学校情報化優良校認定
令和4年 1月	水上中学校 学校情報化優良校認定
令和4年 3月	第1回球磨川リバイバルトレイル開催
令和4年 3月	水上村生涯スポーツ施設「サクラヴィレッジ」オープン
令和4年 3月	第51回湯山温泉桜まつり・花より団子マラソン中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)
令和4年 4月	機構改革 地方創生推進課増設
令和4年 4月	成人年齢20歳から18歳へ引き下げ
令和4年 5月	第1回江代山GOGOトレイル開催
令和4年 5月	湯山舟石地区の山中において不発弾村内初確認
令和4年 9月	台風14号甚大な被害発生(被害総額116億9,883万円)
令和4年 9月	台風14号の影響により江代川口地区一時孤立 防災ヘリによる救助活動
令和4年 9月	第1回奥球磨駅伝競走大会開催
令和4年12月	台風14号による村道古屋敷柳平線、白蔵線の熊本県による権限代行事業合意
令和4年12月	成尾政紀氏特旨叙位正六位受章(死亡受章)
令和4年12月	藏座幸一氏瑞宝単光章受章
令和5年 1月	成人年齢引き下げに伴い「はたちの集い」初開催
令和5年 1月	水上学園開校に伴う増改築工事着工
令和5年 3月	水上村防災・行政情報アプリ「ライフビジョン」運用開始

平成29年 3月	水上村クロスカントリー施設「水上スカイヴィレッジ」完成
平成29年 5月	水上村クロスカントリー施設「水上スカイヴィレッジ」グランドオープン
平成29年 8月	村内小学校の空調設備並びにトイレ改修工事完了
平成29年 8月	災害時における特設公衆電話の設置・利用に関する協定締結
平成29年10月	国道388号湯山峠区着工
平成29年10月	住民主体の介護予防活動「通いの場(いきいき百歳体操)」開始
平成29年12月	第1回水上マウンテンパーティー開催
平成29年12月	「白水神楽殿」回廊改築工事
平成29年12月	初めての子ども議会
平成29年12月	スクールバス(岩野車)新車納入
平成30年 2月	岩野公民館の学習室と郷土資料展示室改築完了
平成30年 3月	第1回「ひとり金婚のつどい」開催
平成30年 3月	熊本県立大学との包括協定締結
平成30年 4月	「桜の里健康マラソン」から“日本一の桜の里”水上村を駆ける「花より団子マラソン」に名を変え開催
平成30年 4月	国民健康保険事業、制度改革により熊本県との共同運営を開始
平成30年 5月	内山勘七氏藍綬褒章受章
平成30年 5月	音楽イベント「水上スカイフェス」開催
平成30年 5月	生活協同組合くまもとと見守り活動と災害時の物資供給に関する協定締結
平成30年 6月	第1回水上マウンテンバイクパーティー開催
平成30年 7月	「林業成長産業化地域創出モデル事業」地域に指定
平成30年 7月	リレーマラソン「水上スカイ100マイル」が初開催
平成30年 7月	球磨郡消防ポンプ操法大会にて宮田班が優勝し、本村にとって初優勝
平成30年 8月	ソラシディアPR用飛行機「水上スカイヴィレッジ号」就航
平成30年 8月	小田學氏旭日双光章受章
平成30年12月	井浦守氏旭日単光章受章
平成31年 3月	故半仁田保氏へ特旨叙位「正六位」
平成31年 3月	古屋敷下・古屋敷上・千ヶ平が合併により「古屋敷区」誕生
平成31年 3月	小学校の部活動が社会体育へ移行
平成31年 3月	森林基幹道梅木鶴線完成
平成31年 4月	村議会議員選挙 議員定数(10名) 立候補者同数により無投票
令和元年5月1日	元号が平成から令和へ
令和元年 5月	「FM再送信局」整備・運用開始によるラジオ難聴解消
令和元年 7月	株式会社サイネックスと「暮らしの便利帳」共同発行に関する協定締結
令和元年 8月	人吉球磨スマートインターチェンジ開通
令和元年8月~10月	各行政区にて「村づくり座談会」開催
令和元年 9月	「水上スカイヴィレッジ号」運航終了
令和元年10月	株式会社ソラシディアとの包括的連携協定締結
令和元年10月	水上村子育てアプリ「みずかみ さくらっこ」導入
令和元年10月	消費増税に伴う低所得者・子育て世帯に対するプレミアム付商品券を発行
令和元年11月	上球磨消防組合消防本部新庁舎供用開始
令和元年11月	台湾基隆フェア観光物産展に参加
令和2年 2月	水上村ポータルサイト「feel MIZUKAMI」がオープン 株式会社 MARUKU との包括的連携協定締結

令和5年 3月	第 52 回湯山温泉桜まつり・花より団子マラソン中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)
令和5年 3月	村内小中学校最後の卒業式
令和5年 3月	水上中学校閉校記念式典 (開校 76 年、卒業生 5,703 人)
令和5年 3月	湯山小学校閉校記念式典 (開校 148 年、卒業生 2,176 人)
令和5年 3月	岩野小学校閉校記念式典 (開校 150 年、卒業生 2,305 人)

